

華ちりめん伊と錦

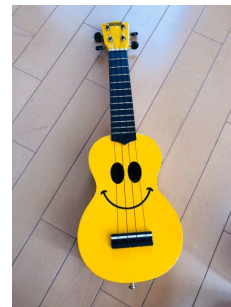
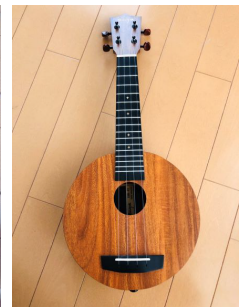


Timebank

どこもかしこもコロナってます

学校の一斉休校や、大きなイベントの中止など、数か月前では想像できなかった状況が続いていますね。いろんな所で様々な影響が大きく出ています。

そんななか、わたくし西村家でも漏れなく休校や大学の卒業式や入学式の中止など、ええというニュースが押し寄せています。我が家でも子供たちは専ら音楽やYoutubeなどの動画をタブレットなどの端末で楽しんで外出を控えている毎日。先日は妻の知り合いから、ありがたいことにウクレレを頂いて、簡単な曲が弾けるように練習しているみたいです。それも、妻と長女と次女の三人。それぞれが好みの、尚且つ弾けそうな曲を選んでやっています。なので、私が帰宅した時に三人が練習していると、みんなバラバラな曲なうえに、変な音が混じっていて、ちよっとした騒音になっています(笑)



ウクレレにも色々な種類があることを知ってびっくり。音色も違ってきます。コードを引くのに、自分の手を小さくしたい。。

でも、「できたー」と言って、詰まりながらも一通り弾けると、満面の笑み。うれしそうです。こういう時に何かに打ち込める事があるのは、とっても良いことですね。

当然のように、学校の課題や自習は後回しになっているみたいですけど(苦笑)それでも四六時中家に籠っているのも大変なこと。早く終息してくれたらなと願っています。

黄金比と白銀比

かの有名なレオナルドダヴィンチは、絵画をととても数学的に描いているそうですね。その中でもよく知られているのが「黄金比」です。その比率は、 $1:1.618\dots$ のようです。これは、人がモノを見た時に、一番安心感がある、美しいと感じる比率だそうです。

一番身近な例でいうと、一般的な名刺のサイズ。意外なところでは、ひまわりの種の配列や、なんと葛飾北斎のあの有名な大波の奥に富士山が見える浮世絵もそうになっているそうです。時代を経ても、美しいと思う大女優オーディリー・ヘップバーンのお顔も黄金比になっているとか。逆に白銀比はコピー用紙であったり、銀閣寺なんか有名ですね。



基本、年間のほとんどの発行物を伊と錦では、手前で作っています。ご案内状であったり、何かの券であったりなど。わたくしどもが扱う着物も美しいものなので、せっかくなら、ご案内状なども、内容がよくお客様に伝わって、見やすいものと考え、黄金比や白銀比を上手く使えたらなと毎回試行錯誤。たまに印刷をして、「さあ」という時に、「間違い発見」や「途中で途切れてるやん…」なんてハプニングもしばしば。今度伊と錦のご案内状などをご覧頂いた時は、ぜひ、頭を抱えながら作っている様子を想像してみてください(笑)

電話 0836-34-2450 FAX 0836-34-2480



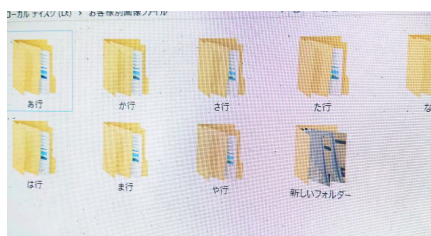
伊と錦
ITOKIN

これは私どもの財産です。

数年前より、伊と錦でご注文頂いたお着物や帯、長じゅばんなど、主にお仕立てなど加工をするものは、「お客様別の商品画像ファイル」を作っています。それ以前の商品は、現像した写真が残っているものをファイルに整理しています。しかし現品そのままお持ち帰りになるもの、例えば帯揚げや帯締めといったものは保存をしていますが、その他のものは、できるだけ画像にとつてファイルしています。その仕組みはとつてもアナログなので、ご注文頂いたお着物や帯を加工に出す前に写真に撮って、それをお客様のフォルダーに移動するというものです。そういう意味ではとても簡易的なデータベースですが、そうすると、新しいアイテムをご覧になったりしたときに持っているものにコーディネートできるだろうかと画像を見ながらとても分かりやすく、想像もしやすいようになりました。

以前はお客様にお願いして、帯や着物などもお持ち頂いて合わせて頂いていました。でも量が多くなると重かったりとお手数をおかけすることになります。しかしこうす

ることで比較的簡単にコーディネートした時の雰囲気の良い悪いが見えてきます。また、お客様がお持ちのものでも、「こんなのもつてた？」と記憶に遠かったアイテムを再度呼び起こしていただけて、コーディネートが出来ることもしばしばあります。



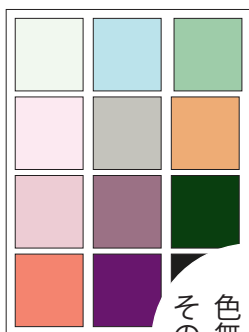
カメラで撮った画像なので、本物と色が少し違って見えることがありますが、本物に勝てることは難しいのですが、「あれにこれを合わせるってこんな感じ」と手ぶらでお越し頂いても安心してお求め頂けるようになりました。

そんなことで、お客様がお持ちのアイテムを「見えるかたち」にすることで、ほんとに良かったなと思います。ただいまこちらが持っている画像データをお客様にお渡しするサービスはしておりませんが、例えば〇月〇日に着物を着ていくとしたら、この着物と帯の組み合わせはいかがですか？とご提案することもできます。そんなときは是非お気軽にご相談ください。着付けのご依頼も是非どうぞ。

4月の催し

4月3日(金)から6日(月)まで
色無地のお詠えとお仕立て直し展

白生地を好きな色に染める、もっているものを好きな色に染めかえる企画展です。この際に今まで着づらかった着物をピタリ寸法にやりかえることもします。これから色無地をおつくりになりたい方や、イメージチェンジをしたい方、持っている着物に変化を加えたい方は必見です。



色無地はシンプルな着物です。その分アレンジが沢山あります

何か一つでも当てはまる方はご検討ください

ご案内状にも記載しております。
色無地の秘密や、「良い」色見本の選び方など



続きは web へ

色無地が「使える」
きものシーン

